



環境省事業へのSDGsの組み込みパイロット・プログラムについて



プログラムの趣旨

各府省のSDGsへの取組は、個別の施策・事業の主目的と重なる項目が中心（例：環境省→目標13 気候変動に具体的な対策を）

SDGsの単一目標にのみ着目するのではなく、他の項目との相乗効果の最大化を目指して施策・事業を実施することが重要

そこで、施策・事業の主目的のSDGs項目と、副次的効果が期待される複数のSDGs項目について目標を設定して実施し、その成果を把握・点検して次年度の施策・事業に反映するPDCAサイクルの仕組みを構築することで、SDGsへの取組をより効果的なものとしていくことを目指す

環境省では、令和2年度から他府省に先駆けて

- ①SDGs推進のためのPDCAサイクルの構築
- ②主要施策のSDGsアイコン表示

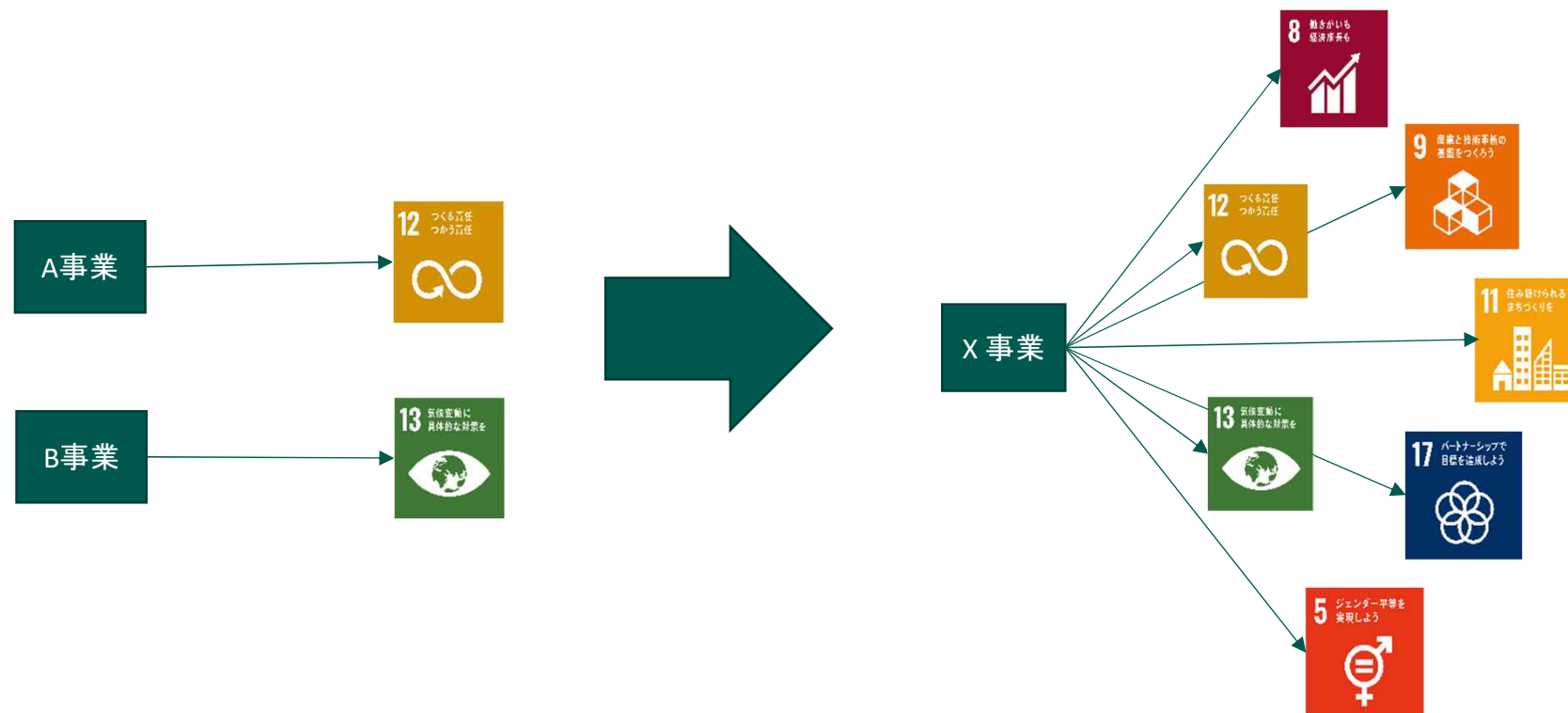
を試行的に実施。環境省の試行事業を通じて確立した知見を他府省に展開するとともに、国内外へ発信

期待される効果：マルチゴールに着目し政策の相乗効果を発揮



現状：1事業1ゴール
単独のゴールに着目した企画・立案

今後：1事業マルチゴール
⇒相乗効果の最大化へ

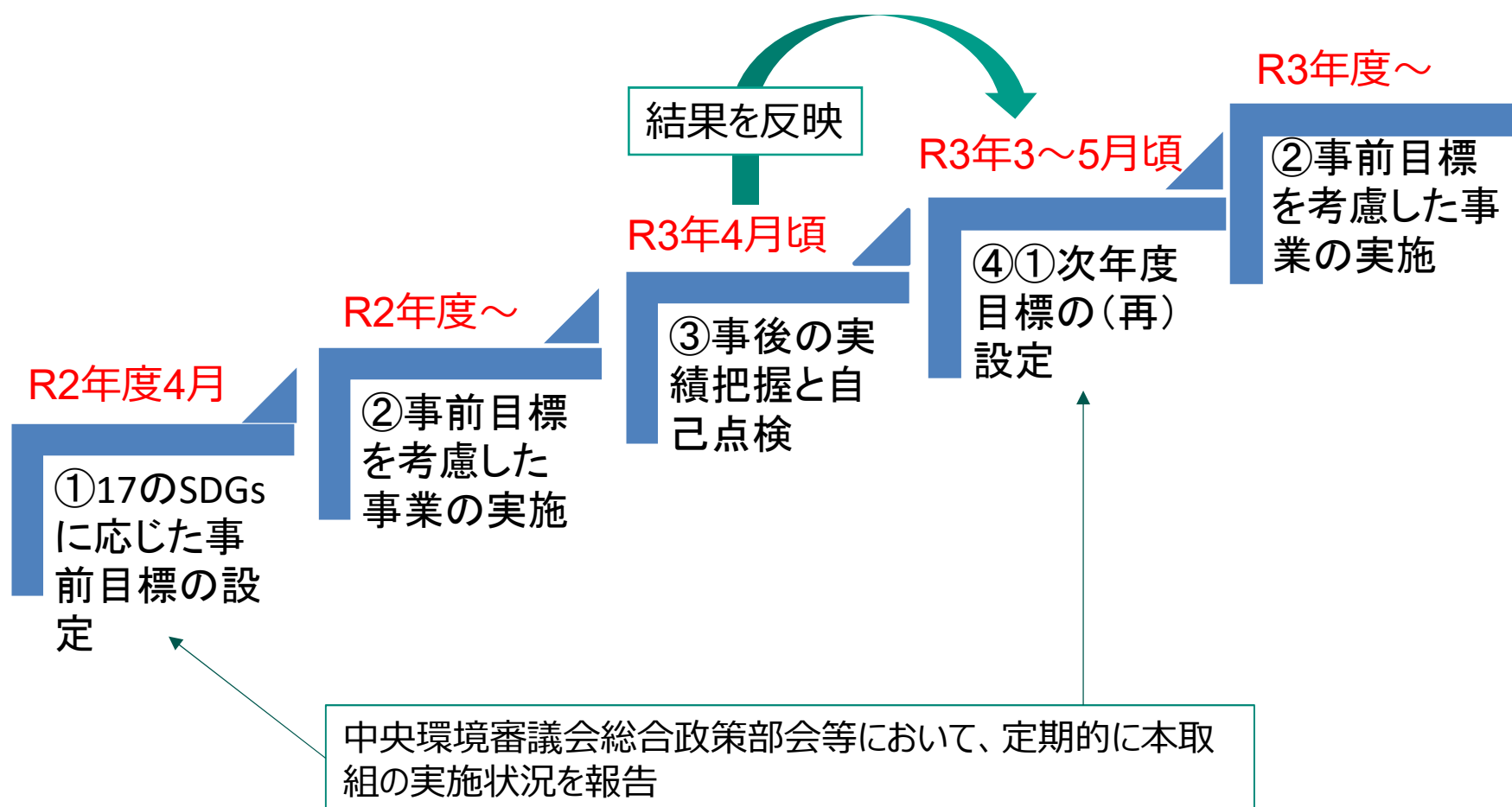


- 多様なSDGsへの配慮が事業のPDCAに組込まれることで、社会的な付加価値の検討が習慣化され、SDGsに対してより大きく貢献できる施策の企画・立案が促進され、ひいては政府の施策全体へのSDGsの組み込みに貢献する。
- 本取組を国内外に発信し、自治体や他国政府等と協力することで、国連SDGs 2030アジェンダに貢献できる。

① SDGs推進のためのPDCAサイクルの構築



・令和2年度予算事業を対象として、事業実施にあたり、SDGsの観点から、目標設定、実績把握・自己点検を行うPDCAサイクルを試行的に導入し、知見を蓄積



① SDGs推進のためのPDCAサイクルの構築



<令和2年度 対象事業>

予算事業名
環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
地域脱炭素投資促進ファンド事業
地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築支援事業
気候変動影響評価・適応推進事業
クールシティ推進事業
海洋ごみに係る削減方策総合検討事業費・海洋プラスチックごみ総合対策費
生物多様性保全推進支援事業
希少種保護推進費
我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業
食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費
熱中症対策推進事業
水銀に関する水俣条約実施推進事業

① SDGs推進のためのPDCAサイクルの構築 対象事業例 1



事業名地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築支援事業

業務概要 台風等の大規模災害による停電発生時にもエネルギー供給が可能な地域づくりを進めるため、再生可能エネルギー設備、蓄電設備、自営線等を組み合わせた面的なエネルギーシステム構築に係る支援を行う。

SDGs	該当の有無	令和2年度		
		SDG副次的効果目標 ・可能な限り支出先ごとに記載 ・前年度事業の実績を踏まえて目標を再設定	SDG副次的効果の実績	自己点検結果 ・SDGsの実現にさらに貢献するための方向性等について記載
 ジェンダー平等を実現しよう	○	採択審査委員会におけるジェンダーギャップを可能な限り小さくするため、 <u>ジェンダーバランスを考慮して委員の選定を行う。</u>		
 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー設備や蓄電池等を活用した自立・分散型地域エネルギーシステム構築の支援を通じて、 <u>再生可能エネルギーの最大限導入に貢献する。</u>		
 働きがいも経済成長も	○	民間資金が活用され、持続的な運営・維持管理体制が構築された事業への支援を通じて、 <u>補助事業終了後も安定的に事業を実施し、地域の雇用創出など地域経済の活性化に貢献する。</u>		
 産業と技術革新の基盤をつくろう	○	CO2排出削減の観点で先進的で効率的な事業を支援してイノベーションを促進し、環境に配慮した <u>技術・システムの導入拡大や、再エネ等の地域資源の活用を通じた地域経済の持続的発展に貢献する。</u>		
 住み続けられるまちづくりを	○	再生可能エネルギー設備や蓄電池等を活用した自立・分散型地域エネルギーシステム構築の支援を通じて、 <u>大規模災害による停電発生時にもエネルギー供給が可能な地域防災に貢献する。</u>		
 気候変動に具体的な対策を	◎	再生可能エネルギー設備や蓄電池等を活用した自立・分散型地域エネルギーシステム構築の支援を通じて、 <u>対象地域におけるCO2排出量削減に貢献する。</u>		

① SDGs推進のためのPDCAサイクルの構築 対象事業例 2



事業名：気候変動影響評価・適応推進事業

業務概要：気候変動影響評価の実施、適応計画の進捗把握、気候変動適応における広域アクションプランの策定、国際連携による気候変動影響評価・計画策定の推進、気候変動災害の激甚化に対する適応の強化等を実施する。

SDGs	該当の有無	令和2年度		
		SDG副次的効果目標 ・可能な限り支出先ごとに記載 ・前年度事業の実績を踏まえて目標を再設定	SDG副次的効果の実績	自己点検結果 ・SDGsの実現にさらに貢献するための方向性等について記載
3 すべての人に健康と福祉を	○	1 広域アクションプラン策定事業 ・関東地域等において、熱中症に関する情報収集およびアクションプランの策定を開始する。対象地域における熱中症搬送者数の低減に貢献する。		
5 ジェンダー平等を実現しよう	○	1.広域アクションプラン策定事業 全国7ブロックの広域協議会・分科会のアドバイザーのジェンダーバランスに配慮する。 2. 国際連携による気候変動影響評価・計画策定推進 事業提案時に、多様なジェンダー配慮を事業計画に織り込むよう努める。		
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	○	1. 国際連携による気候変動影響評価・計画策定推進 わが国の優れた適応技術やサービスと東南アジア諸国の適応事業ニーズを結びつけ、AP-PLAT等を通じて海外展開を支援する。		
11 住み続けられるまちづくりを	○	1.広域アクションプラン策定事業 気象災害の激甚化に備え、自治体間の連携や官民連携による効果的な自助共助の仕組みを広域協議会を通じて検討。気象災害に強靱な地域づくりに貢献する。 2 気候災害激甚化に係る適応強化事業 気候変動下での台風の影響評価を実施。想定される被害等を予測することで、気候変動に適応したまちづくり等の施策に貢献する。		
13 気候変動に具体的な対策を	◎	気候変動適応法および気候変動適応計画に基づき、様々な主体・分野の適応を総合的に推進する。		
14 海の豊かさを守ろう	○	1.広域アクションプラン策定事業 中国四国地域等において、漁業資源および海洋生態系における気候変動適応をテーマとしてアクションプランを検討を通じて、海の豊かさの保全に貢献する。		
15 陸の豊かさを守ろう	○	1.広域アクションプラン策定事業 釧路湿原のEco-DRR機能の評価を検討する。湿原の減災効果を活用して気象災害に備えつつ自然生態系の保全に貢献することを目指す。		
17 パートナリシップで目標を達成しよう	○	1.広域アクションプラン策定事業 広域協議会、適応全国会議を開催、ステークホルダーとのパートナーシップを構築 2. 国際連携による気候変動影響評価・計画策定推進 AP-PLATを通じて国際的なパートナーシップを構築		

② 主要施策のSDGsアイコン表示



令和3年度の予算要求において、要求段階から主要事業の主目的と副次的効果を整理し、政策担当者のSDGs各項目への意識を高めるとともに、PDCAサイクルの構築につなげる

令和〇年度予算における 主な事業リスト	1 気候変動 対策	2 質の高い 教育	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と地域経済の 創出と持続可能性	10 人や国の不平等を なくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくるに 責任を	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を増やそう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正 をすべての人に	17 パートナーシップ で目標を達成しよう
1. 気候変動対策																	
A事業					○		○	○	○		○		◎				
B事業			○		○	○			○		○		◎	○			○

2. 東日本大震災からの復興・再生																	
C事業	○			○	○			○	○		◎				○		○
D事業		○			○			○	○			◎	○		○		○

3. 循環型社会の形成・資源循環イノベーション-----																	
E事業				○							○	◎	○		○		○
